

The tip of an

ICeberg

The tip of an ICeberg=氷山の一角

感染制御は見える部分だけでなく、見えない部分に多くの課題があることの象徴です



SAKURA

アイシーバーグ
サクラニュースレター

No. 30

Serving Global Healthcare with Sakura Tradition and Innovation

感染制御トピック

当院における トレーサビリティシステム導入 一元管理で手術医療を支える情報拠点に 北見赤十字病院

信州発 学びの現場 教育センターからのお知らせ
信州発！ 学びのテーマパークへようこそ

NEWS 製品情報
滅菌物 品質管理システム
SSMS-BASIC

当院における トレーサビリティシステム導入

一元管理で手術医療を支える情報拠点に

北見赤十字病院

北見赤十字病院 物流情報管理室 参事 富樫清英



はじめに

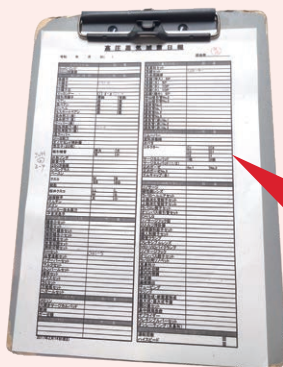
当院は北海道北見市にある急性期・高度急性期を担う病床数 524 床のオホーツク 3 次医療圏地方センター病院です。隣接する北海道立北見病院（病床数 70 床）との指定管理制度導入に伴い、現在は当院が北海道立北見病院の運営を一体的に行っています。

平成 26 年 12 月に新病院へ移転してから手術器械とドリル等の関連する消耗品の管理を当部門で行っており、また平成 31 年 1 月より北海道立北見病院の中央材料室業務を当院で担当するようになったことから、現在両院合わせて約 2,500 種類の手術器械を管理しています。そこで、手術件数の増加から少ない手術器械を効率的に運用すること、滅菌の品質保証を目的に、当院ではトレーサビリティシステム（以下、システムと略す）を導入しました。

システム導入前の状況

器械の所在確認や滅菌管理が
大きな負担に

システム導入前の器材管理は、手術基本器械セット及び単包器械をエクセルでデータ管理し、滅菌工程管理は紙ベースで運用していました。エクセルデータ内では院内呼称の品名と数量のみで管理し、実運用では印刷した手術



システム導入前のチェックリスト

ガラス注射器	数	量	目録
5mlシリンジ			耳鼻科セット
50ml洗眼器			耳鏡セット
一般器具類	数	量	外来用種痘
長鑷子			耳鏡(特大)
中鑷子	10	2-4	耳鏡(大) 5
小鑷子			耳鏡(中) 1
小鑷子立			耳鏡(小) 1
マックアロー	1	3-2 ①2-4	耳鏡(極小)
眼科用鑷子	無鉤	有鉤	寺山吸引管
ペアン	曲	直	寺山吸引管
長ペアン	曲	直	通気管No.0
コッヘル	曲	直	通気管No.1
モスキートペアン	曲	直	通気管No.2
抜糸剪刀(曲)			通気管No.3
抜糸剪刀(直)			通気管(赤)N
クーパー(曲)			通気管(赤)N
眼科用剪刀(曲)	1	2-4	通気管(赤)N
眼科用剪刀(直)			通気管(赤)N
長クーパー			リムーバー

基本器械セット表に洗浄・組立実施者を手書きで記入、滅菌ロード番号を印字しトレーサビリティを実施していました。滅菌工程管理は、滅菌器の運転記録や器械受取滅菌記録表、単包器械滅菌依頼書などに滅菌ロード番号を記入した各種記録表等で管理していました。

しかし、「これから手術で使用する器械はどこにありますか?」、「臨時手術が入りましたがすぐに手術がしたい!」、「常滅菌在庫が2個なのに1個しかない。修理中ですか?」など手術器械管理が手術室から当部門へ移管されたことから問い合わせが増え、その都度スタッフが走り回り手術器械の所在を確認するといった業務が大幅に増加しました。また中堅スタッフの退職が相次ぎ、人材不足から状況判断のミスが頻発したり、午前から午後へ回す手術器械の滅菌が間に合わず手術遅延が発生したり、滅菌有効期限切れ器材の誤使用未遂などのインシデントも度々

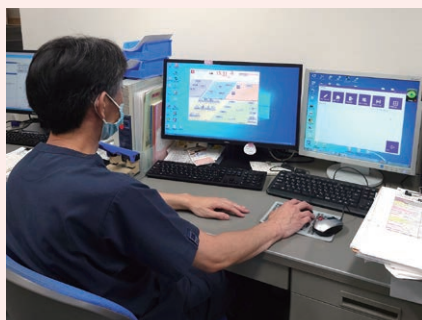
発生する状況に陥ってしまいました。

このままでは手術運営に大きな支障がでかねないと危惧し、滅菌の品質管理及び手術器械管理を中心に、手術準備等を視野に入れたシステム導入について手術室運営委員会を中心に検討しました。その後、管理会議へ答申・審議を経て導入が決定、令和 6 年 9 月より稼働を開始しました。

システム導入後の手術器械管理

「見える化」と標準化で
スタッフの負担を軽減

システム導入後は手術器械の管理を中心に検討しました。手術器械基本セット等複数存在するセットはA・B・Cの様にセット毎にシリアル管理し、患者IDと紐付けて滅菌から使用・回収までトレース可能となりました。また、器械マスタ管理と滅菌工程・各種インジケータの結果をシステムで管



各エリアの作業状況を統括管理



バーコードラベルの作成



作成したラベルを貼り付け

導入前

- Excel + 紙で管理
- 器械の所在を人の手で確認
- 経験に頼った業務
- 滅菌履歴を紙から確認
- 有効期限切れのリスク
- スタッフの負担大



導入後

- システムで一元管理
- 常に器械の所在・工程を把握
- バーコードによる標準化
- 滅菌履歴をすぐに検索
- 有効期限切れ滅菌物を迅速・確実に回収
- スタッフの残業減少

理することでリコールへの迅速な対応や有効期限切れ滅菌物の回収も迅速且つ確実に行えるようになりました。

導入前まで苦勞していた手術器械の所在確認や滅菌物の工程管理、有効期限切れ器材の誤使用などの心配する必要がなくなり、スタッフの負担が減ったことを実感しました。さらには導入前まで増加傾向にあった残業が大きく減少に転じ、休暇取得もしやすくなるという良い職場環境づくりにも寄与しました。導入前の紙運用を全て廃止し、システムの各種データを活用し、バーコードを基本とした入力作業によ

り、これまで人の経験値に依存していた業務の一部が標準化されたことで、経験の浅いパートタイマーの様な雇用形態で人材不足を補うことが可能となりました。

また、電子カルテシステム更新に伴い手術準備業務に大きな支障が出たことから、システムの追加機能である「手術準備ユニット」を追加導入しました。現在は、手術用材料約 1,000 品目をマスタ登録、手術器械と針・糸などの材料を含む手術準備業務を当部門で行っています。これら各種システムの導入効果は、

- ① 滅菌工程の可視化
- ② 記録作業の効率化
- ③ 器械セット等管理精度向上
- ④ 問題発生時の迅速な対応
- ⑤ 滅菌業務全体の標準化

などが導入から得た結論になります。

システムを用いた今後の展望

器械のライフサイクル全体の管理へ

滅菌工程管理・器械管理のみではなく、手術器械の使用回数、修理・点検履歴、購入履歴等をシステムで一元管

理することで、手術器械の安全管理と資産管理の両立が可能になります。中央材料室全体の業務をデータに基づいて改善できることで効率的な手術器械運用が行えます。

また電子カルテシステムとの連携を強化することで、手術器械の準備状況や在庫状況をリアルタイムに把握し、中央材料室を中心とした効率的な手術器械供給につなげられるものと考えています。

まとめ

トレーサビリティシステムの導入は、単なる紙記録の電子化ではなく、記録の一元化、作業の標準化、履歴検索の迅速化、異常発生時の影響範囲の把握など医療安全・感染管理・業務効率向上に大きく寄与するものと思われます。今後の中央材料室は、器械を「洗浄して滅菌する場所」から「器械のライフサイクル全体を管理し、手術医療を支える情報拠点」としての役割が求められ、当院のトレーサビリティシステム導入はその実現に向けた重要な一歩であったと考えます。

■北見赤十字病院 物流情報管理室 DATA

所在地	北海道北見市
病床数	524 床 + 北海道立北見病院 70 床
手術件数	約 5850 件 + 北海道立北見病院 約 800 件 (2025 年度)
管理する手術器械	約 2,500 種類
システム稼働	令和 6 年 9 月～
導入目的	手術器械の効率的な運用、 滅菌の品質保証



既滅菌室のラベル出力 PC とプリンタ



信州発！ 学びのテーマパークへようこそ

感染制御事業本部
教育センター

長野県千曲市にある教育センターは、ただの研修施設じゃありません！

洗浄と滅菌の理論を学びながら

実践も楽しめる“学びのテーマパーク”のような場所です。

講義だけでなく、実習や工場見学が盛り込まれており、さらには信州の魅力を知るお楽しみもあります。

国内以外にも、アフリカ、アジア、中南米など世界中から参加者が集う国際的な施設です。

01



超音波洗浄の発振力を体験

実習が楽しい！ 医療機器で実験体験！

学び方の基本は「触って覚える」「動かして理解する」「直接見て納得する」、まるでアトラクションのような実習が待っています。

- ✓ウォッシャーディスインフェクターを使った洗浄力の違いを体験！
- ✓超音波洗浄器に触れて、その働きを実感！

02

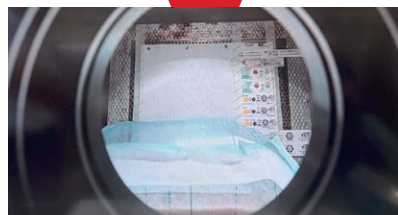


配管・部品および装置動作・構造・原理の説明

新たな気づき!! “なるほど”の連発！

講師陣はただ一方通行に教えるだけではありません。受講者の疑問に丁寧に寄り添いながら、「なぜそうなるのか」「どうすればもっと良くなるのか」を一緒に考えてくれます。思わず「そういふことか」という瞬間が何度も訪れるはずです。

03



窓付き滅菌器にてCIの変色および滅菌バッグ状態を確認

リアルに再現された シミュレーション体験

滅菌の工程を覗いたり、装置の内部構造を学んだり、現場で起こり得るシーンをリアルに体験できます。

- ✓窓付き滅菌器で、“見てわかる”滅菌の仕組みを確認！
- ✓真空状態の滅菌物をリアルタイムで観察！
- ✓部品を分解して内部構造をしっかり理解！

💡 こんな人にはピッタリ！

- ・誰にも相談できず、一人で悩みを抱えている方
- ・洗浄・滅菌の基礎から改めて学び直したい方
- ・最新の洗浄・滅菌技術を学び、スキルアップしたい方

ここには、楽しみながら学ぶ交流の場が全部揃っています。
ワクワクしながら成長できる体験が皆様をお待ちしています。

さあ“一歩前へ”

日常のリフレッシュを兼ねて信州へお出かけください。



NEWS 製品情報

滅菌物 品質管理システム SSMS-BASIC

滅菌物の品質と安全を確保し
滅菌保証をサポート

GS1 識別コードを使用した個体識別管理 (UDI) を用いて各処理工程の情報を登録することで、洗浄・滅菌の状況、使用回数、器材の履歴、さらに所在を迅速に追跡できるようになり、洗浄・滅菌物の効率的な管理を実現します。

詳細は弊社営業担当者へお問い合わせください。



編集後記 暑さも少しずつ和らぐ季節になりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。2022年創刊の「ICeberg メールマガジン」は、この夏に100回を超える発行ができました。読者の皆様、心より感謝申し上げます。制作に追われる日々ですが、お役に立てる情報を手軽に読んでいただけるメルマガを目指してまいります。「ICeberg」と同様、メルマガにもご期待いただけると幸いです！それでは、次回もご期待ください。
サクラ精機 『ICeberg』編集部

メルマガ登録はこちら

バックナンバーもご覧いただけます

アイシーバーグ



サクラ精機株式会社

サクラニューズレター [ICeberg] アイシーバーグ No.30 2026年9月30日発行

編集・発行：サクラ精機株式会社 感染制御事業本部

〒104-0033 東京都中央区新川1-25-12 <https://www.sakurajp.com>